

2011 年度

刑 事 法 問 題 用 紙

刑事訴訟法 (40 点)

刑 法 (60 点)

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。(黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

以下の事例について、下記の設問1・2に答えよ。

【以下余白】

【事例】

X女は、資産家V宅の家政婦を辞めさせられたことを逆恨みし、Vが非常に大切にしている骨董品を持ち出して隠し、Vを苦しめて仕返ししようと考え、交際中のY男に事情を話し、ばれないように案内するからやってくれと頼んだ。Yは、好きなXの頼みなので承諾し、平成20年3月14日午後1時頃、Xの案内でVの居宅1階裏の無施錠の高窓から侵入し、居間の隠し戸棚からV所有の骨董品（時価1000万円相当・重さ10キログラム）を持ち出し、外で見張りをしながら待機していたXと共に逃走した。X、Yは、約5分後、誰にも発見されずに約500メートル離れた公園まで行き、Yがその骨董品をXに手渡して立ち去った。しかし、Yは、前記戸棚に現金らしい封筒があったことを思い出し、この際、他の金品を盗み出そうとV方まで戻り、午後1時20分頃、V方に再び入り、居間に向かおうとしたところ、たまたま立ち寄ったVの息子Wに背後から呼び止められた。Yは、逃げようとして、立ちふさがったWを力任せに突き飛ばし転倒させて逃走した。

他方、Xは、その骨董品を自分の持っていたバッグに詰め直して、公園から出て100メートルほど歩いたところで、午後1時35分頃、Wの「骨董品が盗まれ、男が逃げた」との110番通報を受けて付近を検索中の警察官甲と出くわした。Xは、思わず目をそらして反対方向に走り出したが、すぐに甲に追いつかれ、「そのバッグはどうしたのか。バッグの中身を見せろ」と言われたが、黙っていたため、甲がバッグを開くと被害品が出てきたため、その場でXは甲に逮捕された。

- 1 下記(1)・(2)について説明せよ。解答は、紺色の解答用紙(その1)にしるせ。
 - (1) 警察官の質問の根拠
 - (2) Xの逮捕の適法性

- 2 X及びYの罪責について論じよ(特別法違反の点は除く)。解答は、茶色の解答用紙(その2)にしるせ。